

## 【追悼文】

### クラウス・シュペネマン先生を偲ぶ

澤井 義次

本学会・顧問、天理大学名誉教授

宗教倫理学会の第二代会長を務められたクラウス・シュペネマン先生（元同志社大学文学部・神学部名誉教授）が、2021年2月3日、ご逝去されました。享年83歳でした。シュペネマン先生は、本学会の設立当初から、本学会の進展にご尽力くださり、また、会長を退かれた後も、長年にわたり本学会の顧問として、学会の研究活動を大所高所から支えてくださいました。

シュペネマン先生は本学会が発足したとき、初代会長の瓜生津隆真先生（元京都女子大学・学長）を支えて副会長を務められ、本学会の基盤を築かれました。瓜生津先生が会長を退任された後、第二代会長を継承され、また会長職の退任後は、顧問として本学会を見守ってくださいました。たとえば、学会誌『宗教と倫理』における会員の論文タイトルや概要の英文チェックという面倒な仕事も、近年まで甘えて先生にお願いしておりました。シュペネマン先生のお名前を存じないまま、先生のチェックに助けられた会員も多いと思います。誠に有難うございました。

シュペネマン先生は1937年、ドイツのベルリンにお生まれになりました。ハイデルベルク大学において、神学・哲学・社会倫理学を学ばれ、博士号を取得されました。先生は1970年、32歳で来日されましたが、それは当時、同志社大学教授であった竹中正夫先生がドイツを訪問されて、シュペネマン先生に1年間、日本のアカデミー運動への協力を要請されたからでした。その後、シュペネマン先生は伝統文化の豊かな京都に魅力を感じられ、1977年からは同志社大学文学部・神学部の教授として、数多くの学生たちを教導されました。また約50年にわたって、関西セミナーハウスを中心として幅広くご活躍されました。

宗教倫理学会では、2001年度・2002年度の2年間、研究プロジェクト・テーマ「エコロジーと宗教」のもと、環境倫理と宗教の関わりに関する充実した共同研究がおこなわれました。私はその2年間、初代の研究プロジェクト委員長を務めさせていただきました。当時、環境問題が世界的に大きくクローズアップされ始めた時期で、本学会の共同研究は、各方面から注目を集めました。そこで、本学会の共同研究の成果を海外へも発信するために、アメリカ宗教学会（American Academy of Religion）において、本学会のパネル発表が企画されました。そこで二代会長のシュペネマン先生を中心として、アトランタ市で開催されたアメリカ宗教

学会・年次大会で、2003年11月24日、パネル・テーマ「一神教対多神教？—宗教と環境倫理に関する東アジアの視点—」(Monotheism vs. Polytheism? East Asian Views on Religions and Environmental Ethics)のもと、私たちは研究発表をおこないました。パネリストは会長のシュペネマン先生をはじめ、小原克博先生(同志社大学)、嵩満也先生(龍谷大学)、ランジャン・ムコーパドゥヤーヤ先生(当時・東京大学博士課程在籍)そして私の5名でした。

そのパネル発表において、日本の庭園にも造詣の深かったシュペネマン先生は、「環境倫理と日本宗教」(Environmental Ethics and Japanese Religion)のテーマで、自然との一体感を示唆する日本の伝統的な庭園をケーススタディとして、日本宗教が人間と自然との調和を強調してきたこと、さらに現代世界では、自然との調和に根ざした環境倫理が不可欠であることを論じられました。パネルのコメンテーターは、環境倫理学で世界的に知られるお二人の研究者、すなわちメアリー・E・タッカー教授(Mary Evelyn Tucker 当時・バックネル大学)とマックス・L・スタックハウス教授(Max L. Stackhouse プリンストン大学)が務めてくださり、本学会の研究プロジェクトの研究成果をふまえたパネル発表を高く評価してくださいました。本学会の研究成果が高く評価されたことを、会長のシュペネマン先生はとても喜ばれ、パネル発表の終了後、パネリストの私たちは近くのレストランで祝杯を挙げました。アトランタから帰国後、本学会の研究会において、アメリカ宗教学会でのパネル発表の報告をさせていただきましたが、宗教倫理学会では、グローバルな環境倫理の構築へ向けて、自然との調和を強調する日本の宗教的自然観の特徴をいっそう掘り下げて探究していくことの重要性をあらためて認識いたしました。

その後も、シュペネマン先生は長年の間、キャンパスプラザ京都で開催される研究会や学術大会には、時間の許す限り参加して下さって、いつも笑顔を絶やすことなく適確な質問やコメントをしてくださいました。以上、シュペネマン先生との思い出の一齣を、私の記憶を手がかりに記させていただきましたが、最後に宗教倫理学会のすべての会員を代表して、ここにシュペネマン先生より本学会に賜りましたご尽力に対して、心からお礼を申し上げますとともに、心より哀悼の意を表させていただきます。